

「令和3年度に実施した仕事」の振り返りシート（A：裁量有）

記入日 令和 4 年 4 月 15 日

事業名称		健康診査費（後期高齢者）〔後期高齢者医療健康診査事業〕										
予算科目	款	3	保健事業費	項	1	保健事業費	目	1	健康診査費	事業番号	1	
事業の種別	☐ 市単独 ☒ 補助対象 ☐ 市が実施することが法律等で義務付けられているもの（市の上乗せあり）											
担当部署・課長名	保険年金 課 高齢者医療年金 係					課長名	岩野 秀夫					
この仕事は、どの【施策】の課題を解決するための手段ですか。								施策番号	2 - 5			
【施策名】 社会保障の充実								総合計画書（ページ）	63			
1 この仕事の目的	① 誰（何）を対象にしていますか。					① ①の対象数や量を、あらわすもの（対象指標）						
	施設入所者等を除く後期高齢者医療被保険者					受診券発送数						
	→											
	② ①をどのような状態にしたいのですか。〔簡潔に〕					② ②の状態になった数・量をあらわすもの（成果指標）						
2 指標の推移	疾病の予防・早期発見により、健康の保持増進を図る。					健康診査受診率						
	→											
	③ そのために何をしましたか。					③ ③をどのくらい行いましたか（活動指標）						
	健康診査事業は、東京都後期高齢者医療広域連合から受託して市が実施している。					健康診査受診者数						
3 経費	健康診査事業は、東京都後期高齢者医療広域連合から受託して市が実施している。					→						
4 環境変化等			単位	過去2年間の実績		当該年度		成果目標				
				平成31年度実績	令和2年度実績	令和3年度実績		令和4年度目標		令和5年度目標		
	対象指標	①の数値	件	11,400	11,624	11,808						
	成果指標	②の数値	%	63.8	62.6	63.1						
	目標	②の目標値	%	60.0	61.0	55.0						
	目標値設定の考え方 東京都後期高齢者医療広域連合「データヘルス計画」の数値を目標値とする。											
	活動指標	③の数値	人	7,271	7,271	7,451						
3 経費	事業費（実績）		円	95,767,046	96,601,806	98,919,003		※人件費の所要人数は、基本的には「人」で表わしますが、一時的な仕事については時間数での表示も可とします。その場合単位を「時間」に変更してください。 人件費（再任用職員以外） 年間単価は、8,250,000円 時間単価は、4,200円 で計算してください。 【算出根拠】令和2年度決算数値（退職手当組合負担金、共済費も含む。）				
	財源	一般財源	円	51,486,656	44,980,620	45,755,465						
		特定財源（国・都・他）	円	44,280,390	51,621,186	53,163,538						
		（うち受益者負担）	円	0	0	0						
	人件費（目安）	所要人数（再任用以外）	時間	968.0	968.0	968.0						
		所要人数（再任用）	人	0.0	0.0	0.0						
		職員人件費（再任用以外）	円	4,162,400	4,162,400	4,065,600						
事業費＋人件費		円	99,929,446	100,764,206	102,984,603							
4 環境変化等	（1）開始年度		平成20 年度									
	（2）環境の変化		平成20年4月に後期高齢者医療制度が創設され、東京都後期高齢者医療広域連合からの委託を受け、それまでの誕生月健診から移行し実施された。区市町村が担う業務について大きな変更はないが、被保険者の数は増加の一途を辿っている。									

事業名称	健康診査費（後期高齢者）〔後期高齢者医療健康診査事業〕			
担当部署・課長名	保険年金	課	高齢者医療年金	係 課長名 岩野 秀夫

5 市民等の意見	この仕事に関して、令和3年度中に寄せられた市民・議会等の意見、また、市民・サービス利用者等の実態やその意識について 寄せられた意見は特に無いが、近隣自治体と比較する中で、当市の受診率は高いことから、健康診査に対する市民の意識は高いものとうかがえる。			
6 市民協働	(1)この仕事の実施にあたり、市民協働に取り組みましたか。取り組んだ場合、取組手法欄の種類から番号を選択し、取組手法欄に番号を記載してください。（複数回答可）			
	☐ 取り組んだ ☒ 取り組まない		取組手法： 【取組手法の種類】 ①共催 ②実行委員会・協議会 ③事業協力 ④事業委託 ⑤補助・助成 ⑥情報提供・情報交換（広報媒体： ） ⑦後援・場の提供 ⑧その他（ ）	
	(2)令和4年度に向け、さらに適した協働の形態とするために「考え」「気付いた」点			
7 課題	(1)令和3年度に課題とした内容（「令和2年度に実施した仕事」の振り返りシート 7課題（3）を転記） 前年度と比較し、受診率が下がった。この要因として、新型コロナウイルス感染症の影響が考えられるが、健診を受診することにより、疾病の早期発見等につながることから、健診の重要性を被保険者へ訴えていく必要がある。			
	(2)(1)の課題解決に向けた取組や、事務改善など、令和3年度に実施したこと。 コロナ禍における受診勧奨の取組みとして、受診を分散化させるため、未受診者に対して勧奨通知の発送時期を2回に分けた。この取り組みの成果として、受診率は令和2年度と同じく、高い水準となった。			
	(3)(2)を踏まえた今後の課題（仕事の最適化・合理化の提案） コロナ禍における受診率向上の取り組みを継続的に実施していく必要がある。			
8	施策貢献状況（この仕事は、総合計画（基本計画）に掲げる課題の解決手段になっているか。） 施策名： 社会保障の充実 ☒ なっている ☐ 環境の変化等により成果が減少している ☐ 類似の事業が他にあり改善の余地がある 事業名（ ）			
9 今後の方向性	(1)仕事の方向性（「7 課題（3）」の課題及び「8 施策貢献状況」を踏まえた具体的な改革・改善案など） ☐ 拡大 ☒ 現状維持 ☐ 縮小 ☐ 休止 ☐ 廃止 【取組内容】 受診率向上。			
	(2)上記(1)の取組にあたり、克服すべき問題点、必要な調整・準備等			
	疾病の早期発見につながることから、広域連合や医師会と連携し、受診率向上につなげていく。			